

## IV 総合的なまとめと今後の教育のあり方

### 総合的なまとめ

今まで、児童生徒はどのような意識を持ち行動しているのかを、アンケートの回答をもとに分析してきた。

小学生では、学校の規制している持ち物の持ち込みや授業態度などは、意識と行動にそれほど差は見られなかった。これは、小学生段階では、親や先生に言われたからするという他律的な判断で行動するからだと考えられる。

中学生では、学校の規制している持ち物の持ち込みや授業態度などに、意識と行動の間に差が見られる。行動としては規則を守っている生徒が多いが、持ってきてもよい・してもよいという意識も高くなっていく。これは、小学校高学年から中学生にかけて、物事や行為の善し悪しを自分の考えで判断する自律的な態度が芽生えてくるからだと考えられる。

自律的な考え方に変化してくるこの時期に、児童生徒が多様な価値観を認めながら他者と協調していく力を身につけることができるよう自制心（自己中心的な考え方や利己的な考え方など自分の感情や欲求を制御しようとする意識）を育むことが必要である。

自制心を育てるためには、自己有用感（他人からの感謝、他人から頼りにされている、誰かの役に立っていると感じるなど、他者と交流することで得られる感情）を高めることが必要である。家族数や兄弟数が減り、子どもの遊びが個人で楽しめるようになっていく中で、いかに他人との交流の機会を持たせられるかが大切である。

いろいろな体験が、あいさつ・返事・謝罪・お礼に影響していた結果から考えても、人や自然との触れ合いを持たせることで、自己有用感を獲得させ、自制心を育てることが重要である。

### 今後の教育のあり方

家族・学校・地域で取り組めること。

#### 睡眠と家族の関連

・必要な睡眠時間をとることは、家族とのふれ合いが影響していることがわかった。家族離れが進む（家族に対して「好きでも嫌いでもない」）中学生でも、家族に対して望むことの中に「仲のよい家族」「何でも話し合える家族」が入っているように、家族間の交流も望んでいることが読み取れる。

### 今後の取り組み

・豊かな成長のための睡眠の重要性について、今一度家族で考えてもらうためにも、学校の懇談会で話題にしたり、学校からのたより等でアプローチしたりするなどの取り組みが必要である。

・家族では、出来るだけ話し合える時間を工夫し、睡眠が健康維持のためにとっても重要であることを確認できるような機会を持つことが必要である。

### あいさつ・返事・謝罪・お礼とふれ合い体験の関連

・あいさつ・返事・謝罪・お礼については、人やものとのふれ合い体験が大きく影響していることがわかった。たくさんのふれ合い体験をしている児童生徒は意識と行動が結びついてしっかりとあいさつができています。

#### 今後の取り組み

・コミュニケーション能力を身に付けるためにも、学校や地域では、異学年交流や地域の方々との交流の機会を多くとること、自然体験や協同作業で達成感を味わわせることのできるようないろいろな人やものとのふれ合いを大切にしたい機会をより一層充実させていくことが必要である。

### 我慢すること・私物の持ち込みの規範意識と若者文化との関連

・我慢することは良いことだと思ふことに対して、どちらともいえないと回答している「保留的な態度」を示している児童生徒は、若者文化（染髪やピアスをすること）や学校での規範（授業中の態度）や私物の持ち込みの規範意識（私物の持ち込み）においても、どちらともいえないと保留的な態度を示していることがわかった。

また、持ち物の規範意識は若者文化への憧れが強いと低下するとの関連もわかった。

#### 今後の取り組み

・思春期にさしかかる時期で精神的にも不安定な状態であることを考慮し、コミュニケーションをしっかり取ることを土台とした、強要ではなく理由をしっかり説明して伝えることを大切にする指導が家族や学校に望まれる。

全体を通して、どのアンケート項目に関しても、児童生徒の意識は、学年が上がるごとに低下する傾向にある。

また、意識が低下するとともに、行動する割合も低下することがわかった。児童生徒の意識と行動のずれは、小学校の高学年から徐々に起こり、学年が上がるにつれて、そのずれは、次第に大きくなっていく。それは、発達段階や生活スタイル（家族間の交流、いろいろな人やものとふれ合う体験の差、若者文化への憧れ等が関係していること）によることが調査結果から分かった。

一方では、意識が低くなっても行動できている項目もあり、自制心が育っている姿も見えてきた。

教師として、今回の調査結果を活用して、目の前の児童生徒だけでなく全学年の実態を把握し、これまで以上に広い視野で捉えることが大切である。その上で、地域や家庭と協働し、個に応じたよりの確な支援や指導を行っていくことが望まれる。